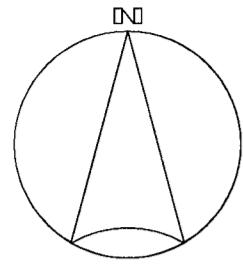


# 高知市消防団一宮分団屯所新築機械設備工事

図面目次		
No.	図面内容	縮尺
M-00	表紙・図面目次	—
M-01	特記仕様書(1)	—
M-02	特記仕様書(2)	—
M-03	附近見取図 工事概要 配置図	1:150
M-04	屋外配管平面図 構表	1:100
M-05	衛生設備 1階・中2階平面図 衛生器具表	1:50
M-06	衛生設備 2階平面図・屋根伏図 衛生器具表	1:50
M-07	空調・換気設備 機器リスト 計算書	—
M-08	空調・換気設備 1・2階平面図	1:50
A-32	仮設計画図(参考図)	1:100
A-33	外構撤去図(参考図)	1:100

高知市消防団一宮分屯所新築機械設備工事 特記仕様書								項目	特記事項			項目	特記事項		
I 工事概要 1. 工事場所 2. 建物概要	高知市一宮西町四丁目1847番10, 2017番10														
建物名称 一宮分屯所	構造 鉄骨造	階数 2階	建築基準法に基づく延べ面積 112.45 m <sup>2</sup>	主要用途 消防屯所	消防法施行令別表第一	都市計画法に基づく用途地域 第一種中高層住居専用地域	備考								
3. 工事種目 1. 分屯所 1 换気装置と設備 2 换気設備 3 衛生器具設備	一式	4 給水設備	一式	7 ガス設備	一式										
4. 関連工事等	1. 分屯所 1 换気装置と設備 2 换気設備 3 衛生器具設備	一式	4 給水設備	一式	7 ガス設備	一式									
5. 概工期	完成期限の( )日前	(令和 年 月 日)													
6. 部分使用 (工事請負契約書第34条第1項)															
II 設備工事仕様															
1. 特記仕様															
1) 項目は、番号に印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。															
2. 適用基準等	図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官房常務部監修の以下による。 ※ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版 ※ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版 ※ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版 ※ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版 ※ 公共建築改修工事標準図(機械設備工事編)令和4年版 ※ 公共建築改修工事標準図(電気設備工事編)令和4年版 ※ 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版 給水外線工事については、高知市水道局発行の「給水装置工事施工要領」による。														
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について ・ 発注者指定型 本工事は、工事着手日から工事完成までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日とする 「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」 試行要領(當機工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuuhutsuka.html) ・ 対象外(理由: )															
項目	特記事項														
一般共通事項															
① 官公署その他への手続き	工事の着手・施工・完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。 手続き等の費用は受注者の負担とするが、以下の費用については受注者が負担する。	(1.1.3) [1.1.3]													
② 工事実績情報サービス(OARING)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)	登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建築実績情報のコインズ・テクリス登録等に関する規約」による。	(1.1.4) [1.1.4]													
③ 書類の書式等	工事の着手に当たり、監督職員会立の下で設計図書等の照査及び施工監理資料作成の打合せを行い記録を整備する。 施工監理資料の内容及び水準は、監督職員が示す「施工監理資料一覧」による。	(1.1.5) [1.1.5]													
④ 総合工程表	原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。	(1.2.1) [1.2.1]													
⑤ 総合図	工事の施工に先立ち別途契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。	(1.2.3) [1.2.3]													
⑥ 施工図等の取扱い	施工図等の内、監督職員の承諾を要するものについては、施工監理資料作成の打合せ時に協議する。 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に譲渡するものとする。	(1.2.3) [1.2.3]													
⑦ 工事日誌	週ごとに工事の全般的な経過及び次回の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 また、半月ごとに出来高を当初計画と共に記入し、月末には実施工表を添付する。	(1.2.4) [1.2.4]													
⑧ 工事写真	工事写真是J版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) 撮影方法は、国土交通大臣官房官房常務部監修「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)・同解説工事写真の撮り方建築編」による。 デジタル工事写真的小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。なお、実施については、国営建設第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。	(1.2.4) [1.2.4]													
⑨ 下請負者の報告	各下請負者については、下請負契約前に「下請施工予定報告書」にて監督職員に報告する。														
⑩ 電気保安技術者	適用する	(1.3.2) [1.3.2]													
⑪ 施工条件	施工日及び施工時間 ※ 1.3.3(1)(7)による。 工事用車両の駐車場所及び資機材の置き場所 ※ 仮囲い ・ 図示 その他の施工条件 ・ 資機材の搬出入時には、事前の説明会を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず説明するものをつけ、公道まで徐行する。 ・ 本工事で通行止めとなる道路に施工日の1週間前より工事看板を立て、工事する旨を周知すること。 ・ A-32、A-33参照														
⑫ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的的、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。 保険期間は、工事着手のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。														
⑬ 契約保証	※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無														
⑭ 前払金支出割合区分補正	交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できることと監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。														
⑯ 交通誘導警備員															
項目	特記事項														
16 統括安全管理管理者の指名															
17 発生材の処理															
18 再生資源利用(促進) 計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)															
19 石綿含有材の事前調査															
20 化学物質の室内濃度の測定															
21 グリーン購入法															
22 設備機材等															
23 特別な材料の工法															
24 技能士の適用															
25 完成時の提出物															
26 建築物等の利用に関する説明書															
27 取扱い説明															
28 不当要求等への対応															
29 不正燃油の使用の禁止															
30 消防計画															
31 工事用水・電力															
32 仮囲い															
33 砂利地業															
34 保護砂															
35 埋戻し															
36 建設発生土の処理															
37 電気主任技術者への報告															
38 工事特性等															
項目	特記事項														
39 工事名	高知市消防団一宮分屯所新築機械設備工事														
40 団体名	特記仕様書(1)							更新日	2024.4.1	作図	2024年7月				
41 係長	岡本	戸田	中村	西村	北村	南村	東村								
42 係長補佐															
43 係長															
44 団面番号															

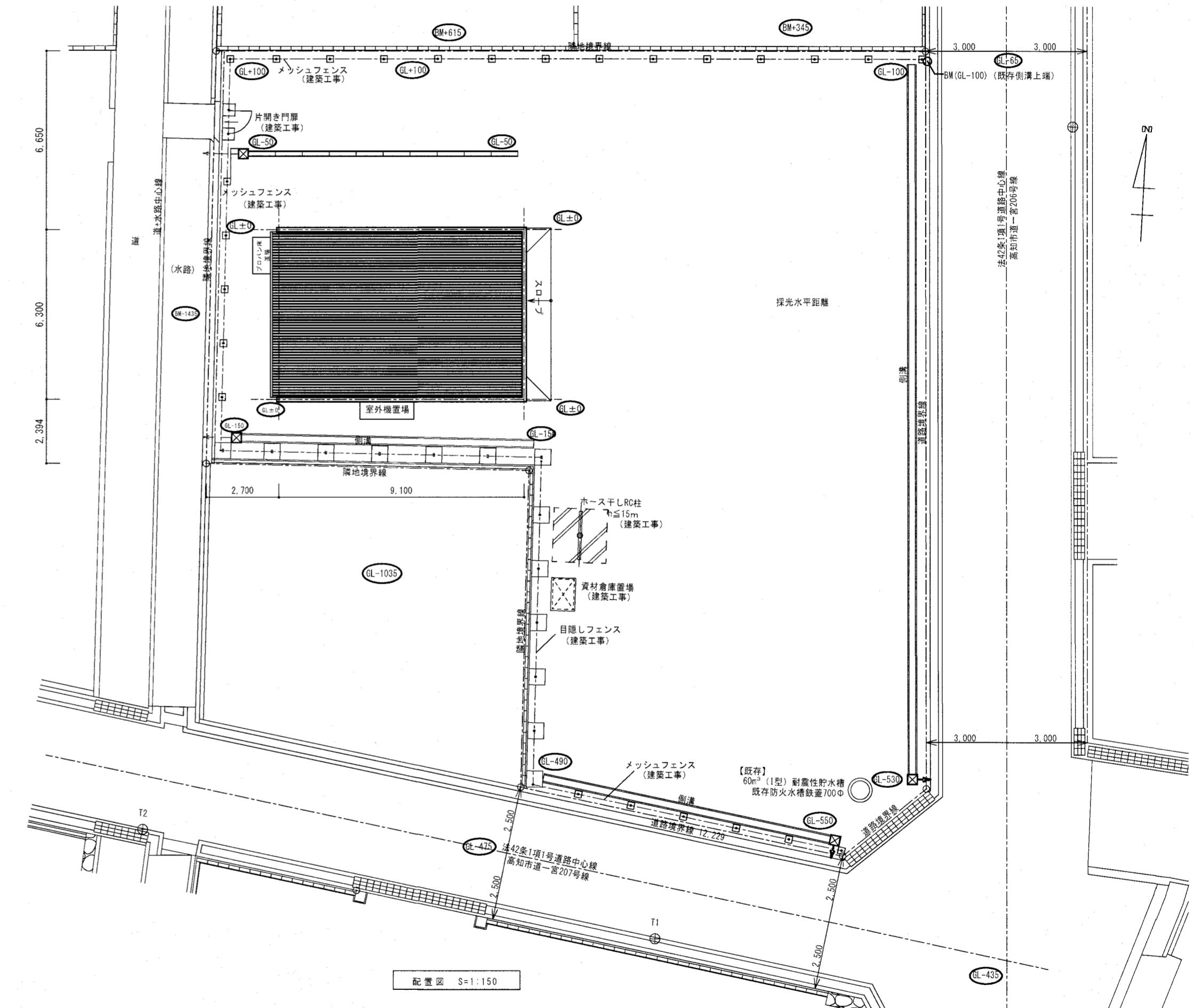
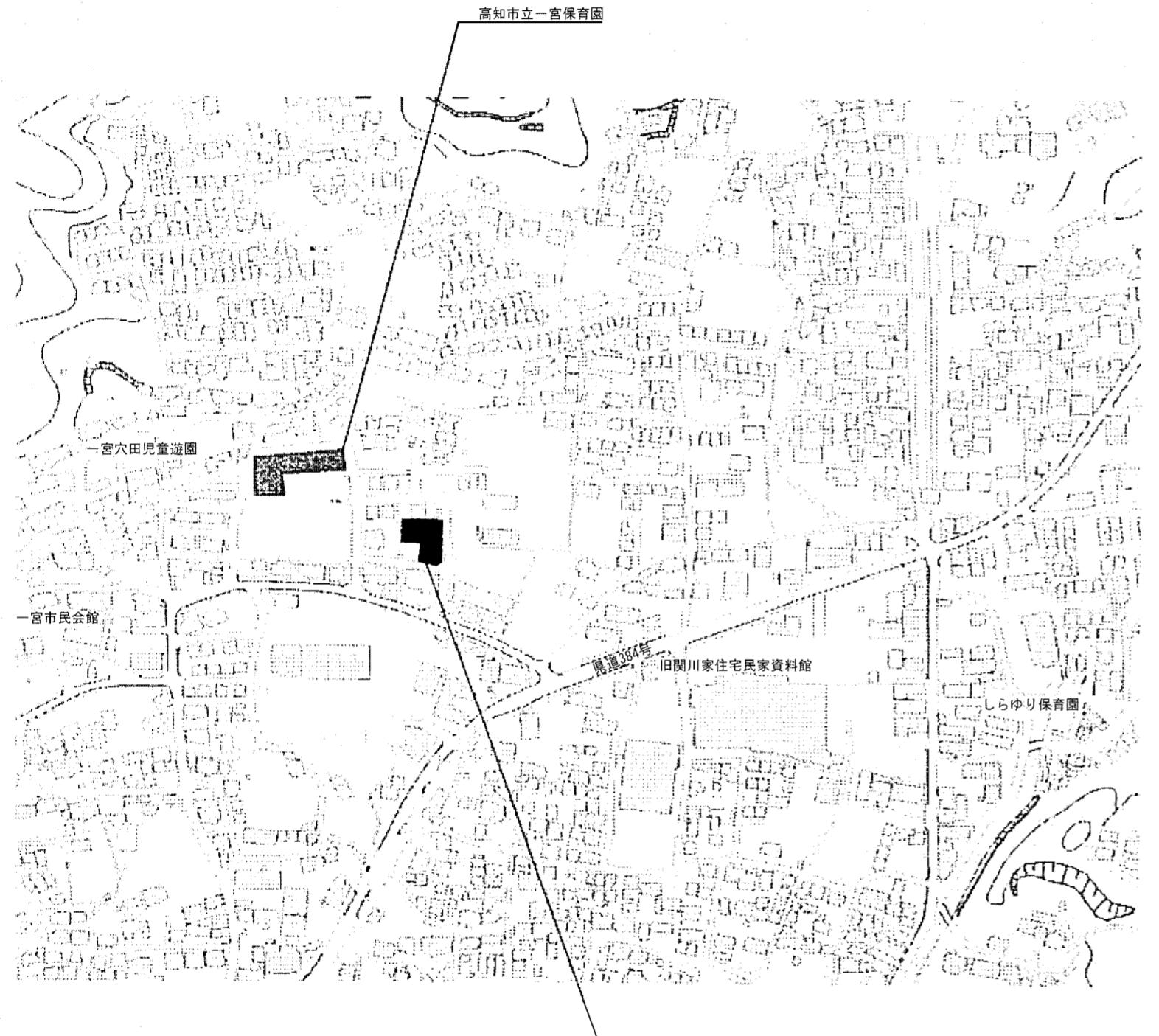
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																								
機械設備特記事項																																																																																																																																																																																																													
① 標識その他	<p>※ 配管表記 a) 機械室・ピット・P.S内・天井点検口・配管分歧場所には必ず表記する。 b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 c) 配管の識別は、原則として JIS Z 9102によるものとし、識別方法・色合いで監督職員の指示による。</p> <p>※ 機器表記（該当する主要機器は事前に確認する。） a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記（管理番号・室名・設置年月等）を行う。 b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。 c) 水中に設置する各種主要機器は銅板（製造社名・製造年月・型番・性能等）を盤面近くにも設ける。</p> <p>※ 弁には、閉鎖等を記入したアクリル札を取り付け、風で飛んだり音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。</p> <p>※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。</p> <p>※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行先側に蓋の付根を向ける。</p> <p>※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設管を設ける。</p> <p>※ 排水以外の屋外埋設管には、G.L - 150mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。</p>	<p>11 メカニカル継手 (1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]</p> <p>12 吊り及び支持 ※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。 (2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]</p> <table border="1"> <caption>横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th colspan="10">呼び径</th> </tr> <tr> <th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>32</th><th>40</th><th>50</th><th>65</th><th>80</th><th>100</th><th>125</th><th>150</th><th>200</th><th>250</th><th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吊り金物による吊り</td> <td colspan="10">2.0m</td> <td colspan="3">3.0m</td> </tr> <tr> <td>ビニール管等</td> <td colspan="10">1.0m</td> <td colspan="3">2.0m</td> </tr> <tr> <td>形鋼振れ止め支持</td> <td colspan="10">—</td> <td colspan="3">8.0m</td> </tr> <tr> <td>銅管等</td> <td colspan="10">—</td> <td colspan="3">12m</td> </tr> <tr> <td>ビニール管等</td> <td colspan="10">—</td> <td colspan="3">6.0m</td> </tr> <tr> <td>形鋼振れ止め支持</td> <td colspan="10">—</td> <td colspan="3">8.0m</td> </tr> <tr> <td>ビニール管等</td> <td colspan="10">—</td> <td colspan="3">12m</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>立て管の固定及び振れ止め箇所</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">固定</th> <th colspan="2">銅管等</th> <th colspan="2">最下階の床又は最上階の床</th> </tr> <tr> <th>銅管等</th> <th>各階1箇所</th> <th>銅管等</th> <th>各階1箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形鋼振れ止め支持</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">各階1箇所</td> </tr> <tr> <td>ビニール管等</td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">各階1箇所</td> </tr> </tbody> </table>	分類	呼び径										15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	吊り金物による吊り	2.0m										3.0m			ビニール管等	1.0m										2.0m			形鋼振れ止め支持	—										8.0m			銅管等	—										12m			ビニール管等	—										6.0m			形鋼振れ止め支持	—										8.0m			ビニール管等	—										12m			固定	銅管等		最下階の床又は最上階の床		銅管等	各階1箇所	銅管等	各階1箇所	形鋼振れ止め支持	—		各階1箇所		ビニール管等	—		各階1箇所		<p>b) 維持管理を管理者に引継ぐ場合は、直前に水質検査（BOD・SS・PH・大腸菌・塩素イオン）を行い、そのコピーを管理業者、施設管理者、監督職員に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。</p> <p>※ 見えやすい場所に、型式・施工者名・設置年月・処理能力・放流水質を記入した銘板を設置する。</p>																																																												
分類	呼び径																																																																																																																																																																																																												
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300																																																																																																																																																																																															
吊り金物による吊り	2.0m										3.0m																																																																																																																																																																																																		
ビニール管等	1.0m										2.0m																																																																																																																																																																																																		
形鋼振れ止め支持	—										8.0m																																																																																																																																																																																																		
銅管等	—										12m																																																																																																																																																																																																		
ビニール管等	—										6.0m																																																																																																																																																																																																		
形鋼振れ止め支持	—										8.0m																																																																																																																																																																																																		
ビニール管等	—										12m																																																																																																																																																																																																		
固定	銅管等		最下階の床又は最上階の床																																																																																																																																																																																																										
	銅管等	各階1箇所	銅管等	各階1箇所																																																																																																																																																																																																									
形鋼振れ止め支持	—		各階1箇所																																																																																																																																																																																																										
ビニール管等	—		各階1箇所																																																																																																																																																																																																										
② 総合調整	<p>本工事に該当する工事種目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。</p> <p>a) 重量調整 b) 水量・水圧調整 c) 室内外空気の温湿度の測定 d) 驚音の測定 e) 室内気流及びんあいの測定 f) 飲料水の水質の測定</p> <p>なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。 (2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]</p>			<p>21 例 ※ コンクリート製の桿（工場製品）には、仕上がり5cm程度に砂利又は砂等で基礎を施す。</p> <p>※ プラスチック製等の桿には、コンクリート製または既製の複合材による基礎を施す。</p> <p>※ 鋼板面に設置されない桿の蓋は、周囲をモルタル等（厚さ10cm程度）により保護する。 [下水道排水設備指針と解説準拠]</p>																																																																																																																																																																																																									
③ 配管材料	<p>配管の種別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所工種</th> <th>屋内露出</th> <th>天井P.S内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>(16)</td> <td>(16)</td> <td>(16)</td> <td>(16)</td> <td>(16)</td> <td>土間下埋設部は(16)、外線部は(12)</td> </tr> <tr> <td>排水・通気</td> <td>(13)</td> <td>(13)</td> <td>(13)</td> <td>(22)</td> <td>(15)</td> <td>(15):125A以上はVU</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td>(9)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消防</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(21)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td>(20)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td>(10)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器ドレン</td> <td>(23)</td> <td>(23)</td> <td>(23)</td> <td>(22)</td> <td>(15)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷温水</td> <td>(2)(5)</td> <td>(2)(5)</td> <td>(2)(5)</td> <td>(2)(5)</td> <td>(2)(5)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水</td> <td>(2)(3)</td> <td>(2)(3)</td> <td>(2)(3)</td> <td>(2)(3)</td> <td>(2)(3)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 配管用炭素鋼銅管 (SGP黒管:JIS G 3452) (2) 配管用炭素鋼銅管 (SGP白管:JIS G 3452) (3) 水道用硬質塩化ビニロン管 (SGP-VB:JWWA K 116) (4) 水道用硬質塩化ビニロン管 (SGP-VD:JWWA K 116) (5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニロン管 (SGP-HVA:JWWA K 140) (6) 消火用硬質塩化ビニロン外被覆銅管 (SGP-VS:WSP 041) (7) 排水用硬質塩化ビニロン管 (D-VA:WSP 042) (8) 配管用アルミニウム銅管 (SUS 304 TP-A:JIS G 3459) (9) 一般配管用アルミニウム銅管 (SUS 304 TPD:JIS G 3448) (10) 断熱材被覆銅管 (JCA 009) (11) 水道用架橋形リサイクル管 (JIS K 6787) (12) 水道用ガリバーリサイクル管 (JIS K 6762)</p> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	場所工種	屋内露出	天井P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	土間下埋設部は(16)、外線部は(12)	排水・通気	(13)	(13)	(13)	(22)	(15)	(15):125A以上はVU	給湯	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)		消防	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)		ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)		冷媒	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)		機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(22)	(15)		冷温水	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)		冷却水	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)		<p>13 埋設管の保護 ※ 契約量水器までの埋設水管及び埋設ガス管は管の周囲100mm程度に保護砂を入れる。 ※ 契約量水器以降の埋設水管及び埋設消火管は簡易保溫筒で巻く。 ※ 排水管は管が移動しないよう中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管よりの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻いて、外圧に対して管を保護する。 (2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]</p> <p>14 埋設深さ 管の中地埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より600mm以上、それ以外では300mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。 (2.2.7.2) [2.2.5.2]</p> <p>15 防食措置 ※ 銅管、船管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1／2重ね1回巻きとする。 (2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠]</p> <p>16 保温工事 ※ 地中に埋設する鉄管・鉄形管・メカニカル継手・特殊継手類にはボリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。 [給水装置工事施工要領]</p> <table border="1"> <caption>保温の種別</caption> <thead> <tr> <th>場所工種</th> <th>屋内露出</th> <th>機械室・着岸</th> <th>天井・P.S内</th> <th>床下暗渠内</th> <th>屋外露出</th> <th>屋外埋設</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水</td> <td>a(d) VII</td> <td>C2(d) VII</td> <td>C2(d) VII</td> <td>e3(n) VII</td> <td>(c)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>屋内空調用ドレン管は保温材付き</td> </tr> <tr> <td>給湯</td> <td></td> <td>C2(d) I</td> <td>C2(d) I</td> <td>e3(D) I</td> <td>(n)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷媒管</td> <td>A1(d) VII</td> <td>B1(d) VII</td> <td>B1(d) VII</td> <td>E3(D) VII</td> <td></td> <td></td> <td>断熱材被覆銅管の場合</td> </tr> <tr> <td>矩形ダクト</td> <td>C1(D) X I</td> <td>C1(D) X I</td> <td>C1(D) X I</td> <td>C1(D) X I</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>丸形ダクト</td> <td>N(D) X I</td> <td>N(D) X I</td> <td>N(D) X I</td> <td>N(D) X I</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁・継手類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保温材の厚さは各工種に準拠</td> </tr> <tr> <td>(1) ロックウール保温材</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) ガラスウール保温材</td> <td>(a)</td> <td>(a)</td> <td>(a)</td> <td>(a)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(3) ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>(b)</td> <td>(b)</td> <td>(b)</td> <td>(b)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(4) 消火用硬質塩化ビニロン管</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 簡易保溫筒10mm</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 簡易保溫筒20mm</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(7) 簡易耐熱保溫筒10mm</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(8) 簡易耐熱保溫筒20mm</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td>(d)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。 (2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]</p>	場所工種	屋内露出	機械室・着岸	天井・P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考	給水	a(d) VII	C2(d) VII	C2(d) VII	e3(n) VII	(c)			排水							屋内空調用ドレン管は保温材付き	給湯		C2(d) I	C2(d) I	e3(D) I	(n)			冷媒管	A1(d) VII	B1(d) VII	B1(d) VII	E3(D) VII			断熱材被覆銅管の場合	矩形ダクト	C1(D) X I	C1(D) X I	C1(D) X I	C1(D) X I				丸形ダクト	N(D) X I	N(D) X I	N(D) X I	N(D) X I				弁・継手類							保温材の厚さは各工種に準拠	(1) ロックウール保温材	(d)	(d)	(d)	(d)				(2) ガラスウール保温材	(a)	(a)	(a)	(a)				(3) ポリスチレンフォーム保温材	(b)	(b)	(b)	(b)				(4) 消火用硬質塩化ビニロン管	(d)	(d)	(d)	(d)				(5) 簡易保溫筒10mm	(d)	(d)	(d)	(d)				(6) 簡易保溫筒20mm	(d)	(d)	(d)	(d)				(7) 簡易耐熱保溫筒10mm	(d)	(d)	(d)	(d)				(8) 簡易耐熱保溫筒20mm	(d)	(d)	(d)	(d)				<p>22 例 ※ 國土交通省仕様どおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。 ※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。</p> <p>23 防振施工 ※ 機器の振動が建物に影響を及ぼすおそれのあるものは、適切な防振措置を施す。</p> <p>※ 電動機等により振動を生じる機器及び配管の固定部にはダブルナット又はストップボルト等により緩み、脱落防止措置を施す。ナットは、アイマークにより締付けが確認できるようにし、ナットに対するボルトの余長は3mm以上を標準とする。 [公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）準拠]</p> <p>※ 床又は壁に設置の機器で重量が大きく重心位置が比較的高い機器については転倒防止措置を施す。</p> <p>※ 天吊り機器には振止め用形鋼架台や斜材を用いる等して落下・傾き防止措置を適切に施す。</p> <p>※ 天吊り機器と吊り金物との接続箇所毎に防振装置を設ける。 [建築設備検査資格者講習キット準拠]</p>	<p>24 例 天吊り機器等の施工方法は、「建築物における天井脱落対策に係る技術基準」に適合すること。</p> <p>設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官庁監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による。局部震度法による設計用標準震度は、構造部の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により選定する。100kg以上の機器に適用し、それ以下の機器については監督職員と協議する。</p> <p>給湯設備の転倒防止措置は、建築基準法施行令第129条の2の7第2号及び同令に基づく告示（平成24年国土交通省告示第1447号）の定めによる。</p> <p>なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。</p>			
場所工種	屋内露出	天井P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																																																																																																																							
給水	(16)	(16)	(16)	(16)	(16)	土間下埋設部は(16)、外線部は(12)																																																																																																																																																																																																							
排水・通気	(13)	(13)	(13)	(22)	(15)	(15):125A以上はVU																																																																																																																																																																																																							
給湯	(9)	(9)	(9)	(9)	(9)																																																																																																																																																																																																								
消防	(20)	(20)	(20)	(20)	(21)																																																																																																																																																																																																								
ガス	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)																																																																																																																																																																																																								
冷媒	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)																																																																																																																																																																																																								
機器ドレン	(23)	(23)	(23)	(22)	(15)																																																																																																																																																																																																								
冷温水	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)	(2)(5)																																																																																																																																																																																																								
冷却水	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)	(2)(3)																																																																																																																																																																																																								
場所工種	屋内露出	機械室・着岸	天井・P.S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備考																																																																																																																																																																																																						
給水	a(d) VII	C2(d) VII	C2(d) VII	e3(n) VII	(c)																																																																																																																																																																																																								
排水							屋内空調用ドレン管は保温材付き																																																																																																																																																																																																						
給湯		C2(d) I	C2(d) I	e3(D) I	(n)																																																																																																																																																																																																								
冷媒管	A1(d) VII	B1(d) VII	B1(d) VII	E3(D) VII			断熱材被覆銅管の場合																																																																																																																																																																																																						
矩形ダクト	C1(D) X I	C1(D) X I	C1(D) X I	C1(D) X I																																																																																																																																																																																																									
丸形ダクト	N(D) X I	N(D) X I	N(D) X I	N(D) X I																																																																																																																																																																																																									
弁・継手類							保温材の厚さは各工種に準拠																																																																																																																																																																																																						
(1) ロックウール保温材	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
(2) ガラスウール保温材	(a)	(a)	(a)	(a)																																																																																																																																																																																																									
(3) ポリスチレンフォーム保温材	(b)	(b)	(b)	(b)																																																																																																																																																																																																									
(4) 消火用硬質塩化ビニロン管	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
(5) 簡易保溫筒10mm	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
(6) 簡易保溫筒20mm	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
(7) 簡易耐熱保溫筒10mm	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
(8) 簡易耐熱保溫筒20mm	(d)	(d)	(d)	(d)																																																																																																																																																																																																									
④ 別途工事																																																																																																																																																																																																													
30 支給品																																																																																																																																																																																																													
メーカーリスト																																																																																																																																																																																																													
機材名	メーカー名																																																																																																																																																																																																												
衛生陶器	TOTO, LIXIL																																																																																																																																																																																																												
水栓金具類	TOTO, LIXIL, 三栄水栓																																																																																																																																																																																																												
F.R.P水槽	三菱樹脂、白立成、積水、ブリヂストン																																																																																																																																																																																																												
うず巻ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見																																																																																																																																																																																																												
水中モーターポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見																																																																																																																																																																																																												
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和																																																																																																																																																																																																												
電気温水器	四菱テック、ユーパック、日本電熱、ハナソニック、三菱、日立																																																																																																																																																																																																												
厨房機器	日本調理、ジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン																																																																																																																																																																																																												
小型鋼板ボイラ	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ																																																																																																																																																																																																												
F.R.P膨張水槽	三菱樹脂、日立成化、ホーコス																																																																																																																																																																																																												
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア																																																																																																																																																																																																												
バッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、日本キャリア																																																																																																																																																																																																												
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工																																																																																																																																																																																																												
エアハンドリングユニット	新潟、ダイキン、三菱、昭和、パナソニック、日立、木村、日本キャリア、三菱重工																																																																																																																																																																																																												
送風機	テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業																																																																																																																																																																																																												
冷却塔	矢崎、日立、荏原シングル、空研、日本スピンドル																																																																																																																																																																																																												
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ																																																																																																																																																																																																												
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ																																																																																																																																																																																																												
全熱交換形換気扇	三菱、パナソニック、テラル、日本キャリア、日立、ダイキン																																																																																																																																																																																																												
その他	国土交通省仕様適合品																																																																																																																																																																																																												
官公庁等名	高知市上水道局	打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																																																																																																										
打合せ事項																																																																																																																																																																																																													
官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																																																																																																										
打合せ事項																																																																																																																																																																																																													
官公庁等名		打合せ日時	令和 年 月 日																																																																																																																																																																																																										
打合せ事項																																																																																																																																																																																																													
工事名	係	係長	課長	課長補佐	課長	図面番号																																																																																																																																																																																																							
高知市都市建設部 公共建築課	岡本	戸田	中村	西村	西村	M-02																																																																																																																																																																																																							
図面名 特記仕様書 (2)	更新日	2024.5.1	作図	2024年 7月																																																																																																																																																																																																									

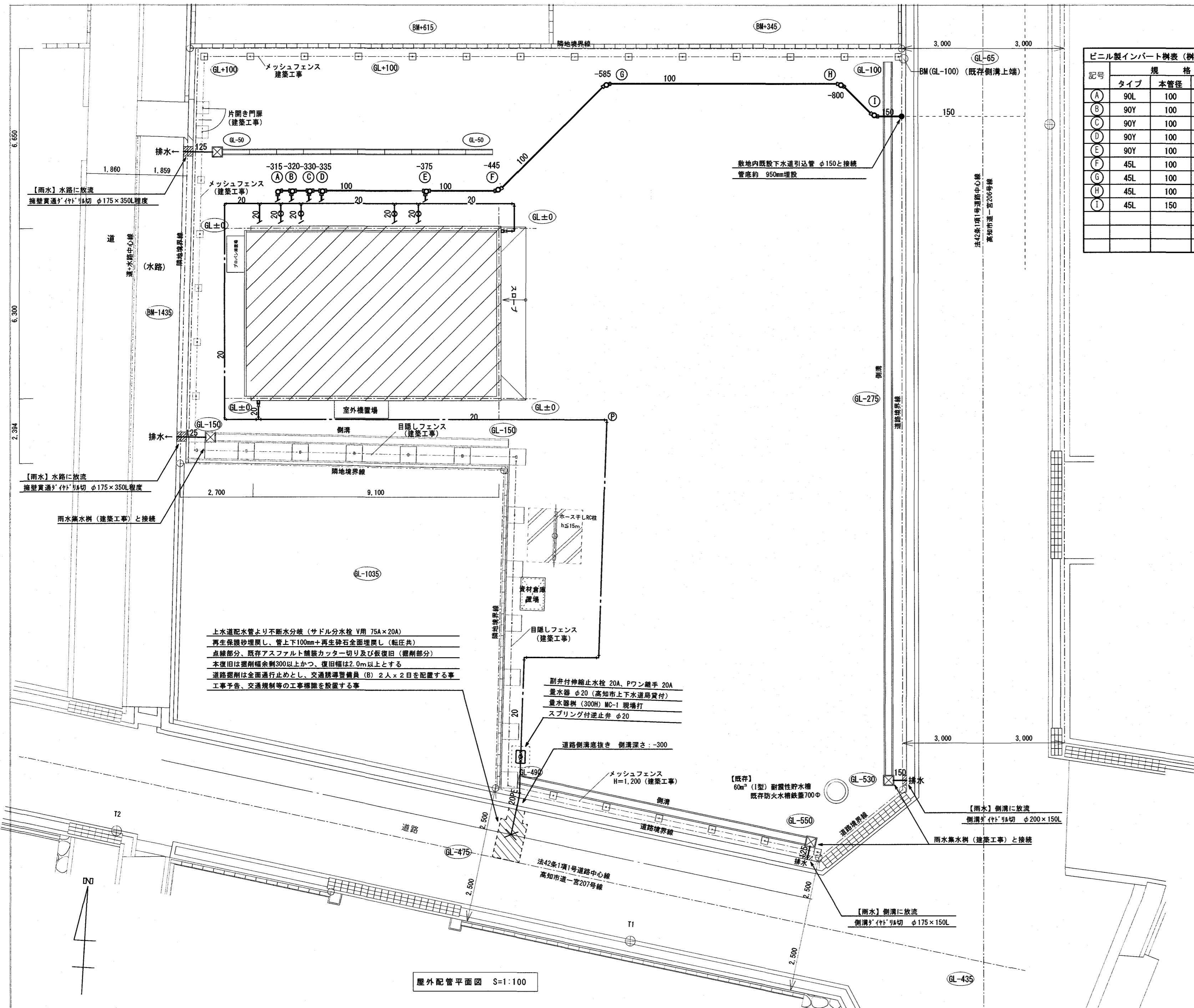


工事概要
【高知市消防団一宮分団屯所新築に伴う、機械設備工事】
1. 屋外・屋内、給排水衛生設備工事。
2. 屋外・屋内、給湯設備及びガス設備工事。
3. 屋内、空気調和設備及び換気設備工事。

工事場所：高知市一宮西町四丁目1847番10, 2017番1

付近見取図

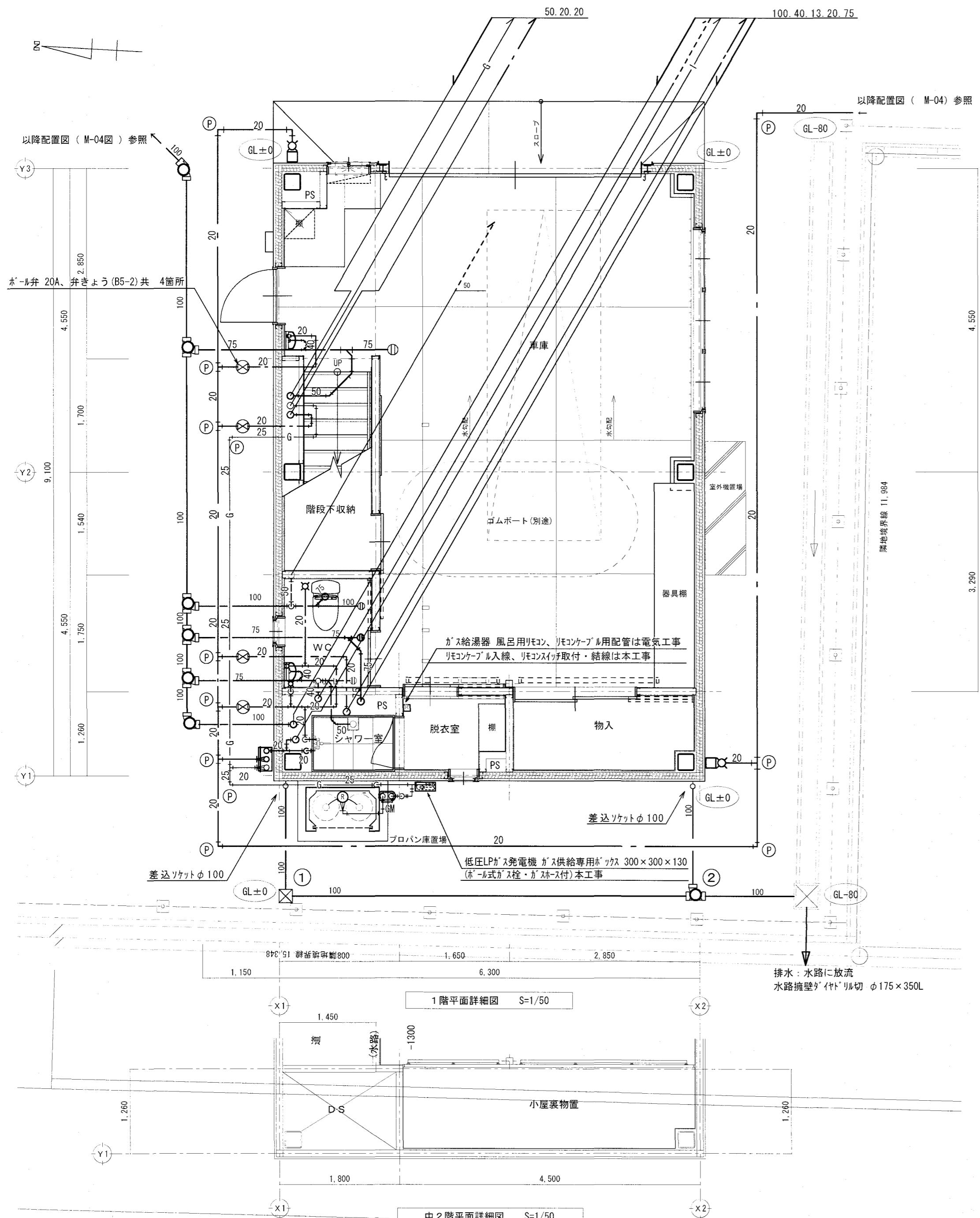




ビニル製インバート樹脂表（樹の深さは設置地盤面より、管底までの参考値とする）					
記号	規 格		設置場所 樹管底深さ	ビニマス用蓋	特殊継手
	タイプ	本管径			
A	90L	100	150	-315	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
B	90Y	100	150	-320	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
C	90Y	100	150	-330	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
D	90Y	100	150	-335	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
E	90Y	100	150	-375	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
F	45L	100	150	-445	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
G	45L	100	150	-585	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
H	45L	100	150	-800	防護蓋φ150(T-8)、ロック式、内蓋共
I	45L	150	200	-820	防護蓋φ200(T-8)、ロック式、内蓋共

建築工事外構工事項目（参考）	
①	アスファルト舗装：A-5-15（路盤再生材）
②	U型側溝：W=240 スチールグレーチングU型側溝240用（T-14）共（詳細図参照）
③	集水樹：300角 スチールグレーチング及び受枠共（詳細図参照）
④	メッシュフェンス：H=1,200（詳細図参照）
⑤	コンクリート土間：t=200 コンクリート直均し（金ゴテ） 仕上げ天端GL+100 D10@150シングルクロス 碎石 t=100共
⑥	資機材倉庫場基礎：コンクリートW1,300×H200×D900 コンクリート直均し（金ゴテ）仕上げ 天端周囲仕上げ面より+100 D10@150シングルクロス 碎石 t=100共
⑦	ホース干し：詳細図参照

※ 設計GL±0 = BM+35とする。



車庫（手洗器）衛生器具表		
名称	品番	数量
	L30D、TL19AR、TL22OD、T22BS、TL4D1FU L-15AG、LF-P02B、LF-3SV(520)、LF-10SAL、KF-30DN、SF-SE	1
化粧鏡	YM4560F KF-4560A	1
	COA-80	1

1階便所衛生器具表		
名称	品番	数量
腰掛便器	CS597BS、SH596BAYR、TCF587V80W（便蓋有り・金属プレート仕様） BC-P20SU、DT-PA250UCH、CW-PB21-NE（便蓋有り・金属プレート仕様） (ロータンク仕様、ウォッシュレット)	1
	YH117 CF-32H	1
手洗器	LSK870BSR L-A74PB	1
	T200ESNR13C LF-7RE-13-U	1
掃除用水栓	COCL-P (SU)-80	1
床兼ドレン	COA-80	1
床上掃除口	COA-100	1
床上掃除口	COA-100	1

シャワールーム衛生器具表		
名 称		数 量
シャワーユニット	建築工事	
シャワー用混合水栓	シャワーユニット付属品（配管接続は機械設備工事）	
床排水金物	シャワーユニット付属品（配管接続は機械設備工事）	
ステンレス製フレキシブル継手	φ13×300L（給水側ケイクチューブ、給湯側耐熱ケイクチューブ巻）	2

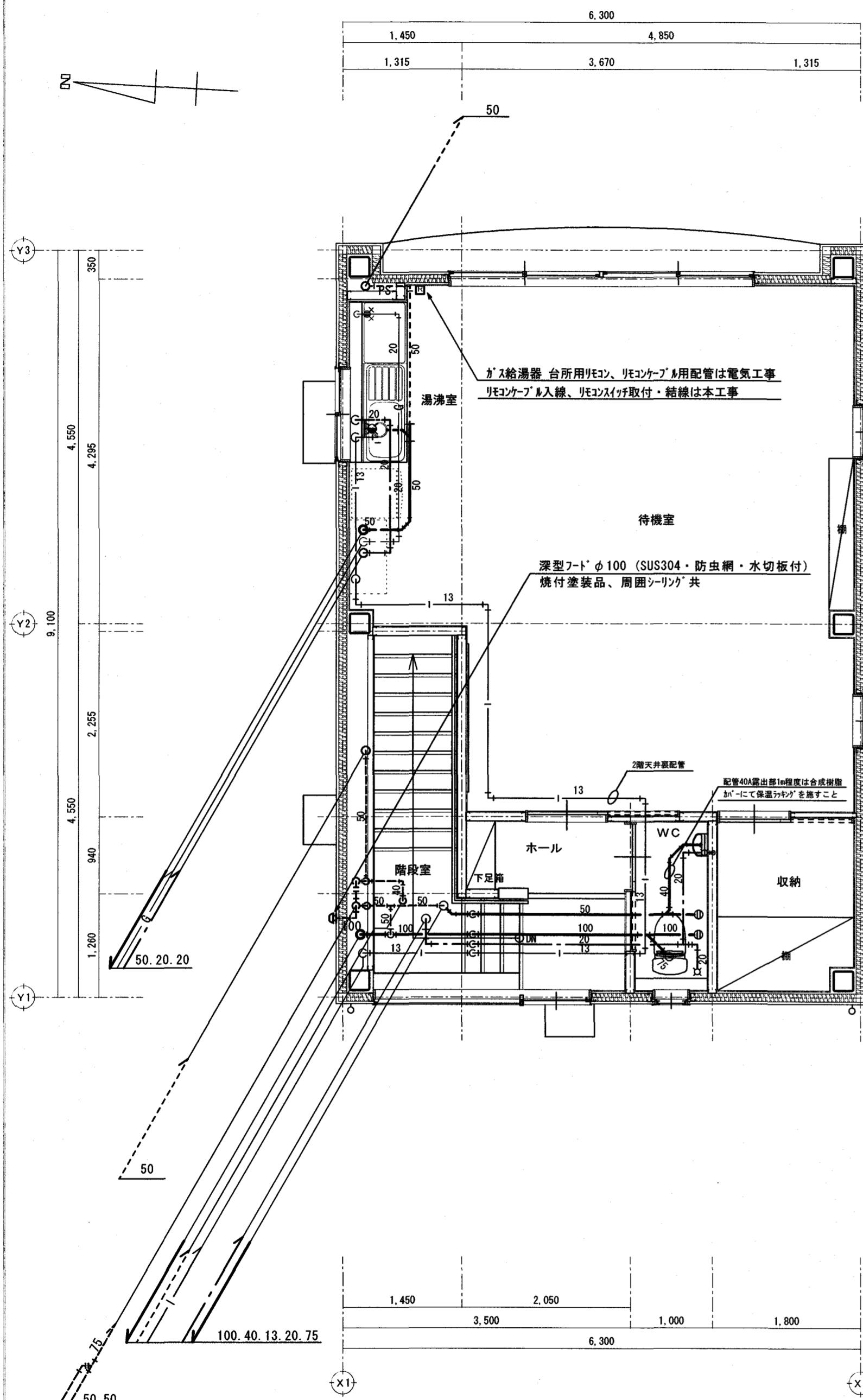
記号	規 格		設置場所	樹 用 蓋
	タイプ	本管径		
①	ため樹 300口			-300 細目ケーリング蓋（溶融亜鉛メッキ品）
②	ビニールインバート樹 90Y	100	200	-440 みかけ蓋 φ200（ワンタッチ式）

※ 堅樋は建築工事、堅樋下部の差込ソケット以降は本工事。  
※ 集水樹から放流までの配管及び接続は本工事とする。

屋外水栓類・弁類		
名 称		数 量
キー式ホース水栓	φ20	2
SUS製水栓柱	φ20mm用（断熱月）H:1.200、周囲コンクリート打（200口×200H）	2
埋設表示ピン	銅式	12

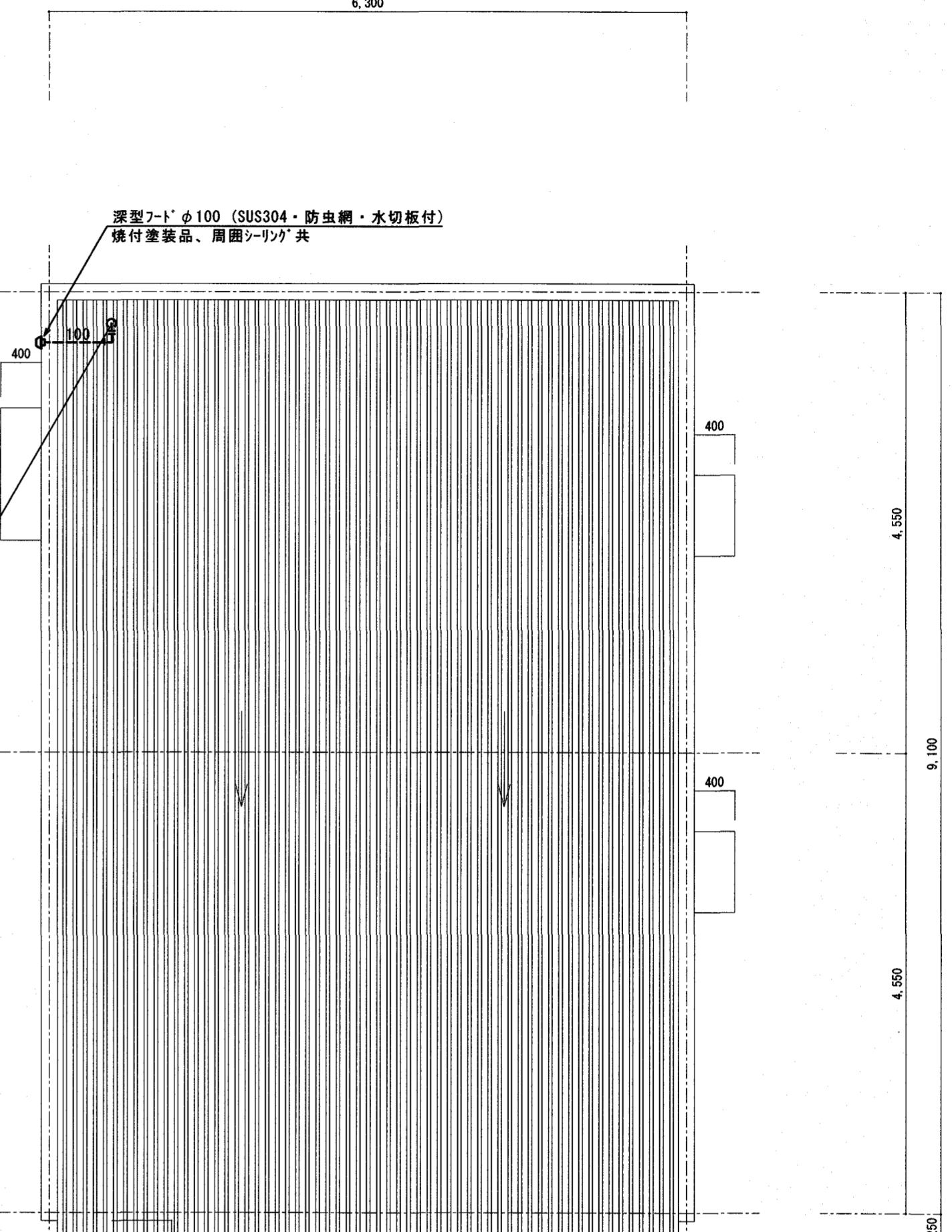
記 号	名 称	仕 様			数 量
		給湯専用：給湯能力 24号（プロパンガス用）家庭用機種	配管カバー（600H）台所リモコン・風呂リモコン・リモコンケーブル共	給水：逆止弁付ボール弁 20A、SUS製フレキ 20A×300L（保温付）	
WHG 24	ガス給湯器 (屋外壁掛型) (標準品)	給湯：逆止弁付ボール弁 20A、SUS製フレキ 20A×300L（保温付）	ガス：可とう管コック 15A、金属ガスフレキ 15A×300L	リモコンの配管・スイッチボックスの取付は電気設備工事とする	1台
LPGU	プロパンガス集合装置	リモコンケーブル入線・リモコンスイッチの取付・結線は本工事とする	機器の設置はアンカーボルトで壁面に強固に取付けること。	平成24年国土交通省告示第1447号「第5給湯設備の地震に対して安全上支障のない構造」に適合した取付け方法とする	
	試運転用プロパンガス設備	LPGボンベハウス（50kgボンベ2本用）前面鍵付シャッタ、背面パネル付 防錆塗装品	LPGガス集合装置 50kgx2本立（8kg/h）（自動切替調整器、ボールバルブ15A付）	マイコン式ガスマーター 10kg/h（本工事）	1組
		ボンベ転倒防止チェーン（SUS製） メーター用ガスコック 25A	ボンベ転倒防止チェーン（SUS製） メーター用ガスコック 25A	コンクリート基礎（別途、建築工事） SUSアンカーボルトは、本工事とする。	
		30kgボンベ1本、調整期共が給湯器試運転及び給湯設備出湯確認用、	30kgボンベ1本、調整期共が給湯器試運転及び給湯設備出湯確認用、	ガス漏れ警報器（一点式）仮設設置（工事完成後指定場所に保管）	

工事名	高知市消防団一宮分団屯所新築機械設備工事	図面内容	衛生設備		縮 尺	作 図	担 当	検 印	設計日付	高知市都市建設部公共建築課	係	係長	課長補佐	課 長	図面No.
			1階・中2階平面図	衛生器具表											
			1:50				島崎	島崎	2023.01		岡本	戸田	土村	伊藤	M-05



2階平面詳細図 S=1/50

2階給湯室 衫生器具表		
名 称	品 番 (上段:TOTO 下段:LIXIL)	数 量
シングルレバー式混合水栓	TKS05316J	1
	SF-WM432SY	
流し排水金物	建築工事(流し台附属品) (配管接続は本工事)	(1)
双口ガス栓	15Aヒューズ式	1
ガステーブル(両面焼グリル付)	卓上型 2口コンロ	1



S=1/50

2階便所 衛生器具表		※、給排水は床給水、床排水とする	
名 称		品 番 ( 上段 : TOTO 下段 : LIXIL )	数 量
腰 掛 便 器	CS597BS, SH596BAYR, TCF587V80W(便蓋有り・金属プレート仕様)		1
	BC-P20SU, DT-PA25OUCH, CW-PB21-NE(便蓋有り・金属プレート仕様)		
	(ロータンク仕様、ウォッシュレット)		
紙 卷 器	YH117		1
	CF-32H		
手 洗 器	LSK870BSR		1
	L-A74PB		
床 上 掃 除 口	COA-50		1
床 上 掃 除 口	COA-100		1

空調 機器リスト

記号	名称	機器仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考
			φ-V	W			
ACR 1	空冷HPルームエアコン	壁掛形 屋外機標準塗装品 冷媒：R32	1-200	C：880	2	待機室 × 2	
		冷房能力：4.0 kW 暖房能力：5.0 kW		H：920			リモコンホルダー × 2
		圧縮機：1,100 W		(最大低温)			
		冷媒管：φ6.35 × φ9.52 ドレン管：VP20		3,560			
		ワイヤレスリモコン					
		屋外機：平地高置用架台 H-300（溶融亜鉛メッキ製）					
		+ 防振架台					
		コンクリート基礎（建築工事）					
		屋内外接続線：EM-CE 3.5sq-4C (1本アース)、冷媒配管共巻					

特記事項

機 器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機の仕様は、メーカー最高機種とする。</li> <li>・グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成十二年法律第百号）の判断基準適合品とする。</li> <li>・冷媒にオゾン層を破壊する物質が使用されていない機種とする。</li> <li>・機器選定は冷房能力（JIS条件）を基準とし、機器消費電力・圧縮機出力等は、メーカーにより変更有り。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷媒配管は、ペアコイルとする。</li> <li>・冷媒配管の屋内露出部は合成樹脂か<sup>アクリル</sup>、屋外露出部は溶融アルミニウム亜鉛鉄板を使用する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調ドレン配管は保温材付ドレンパイプとする。（天井・スリダクト内 40A以下）</li> <li>・屋外露出のドレン配管は、カラーパイプを使用する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室外機取付用ボルト、ナット及びアンカーボルト、配管支持金物等はSUS製とする。</li> <li>・ルームエアコンの一次側電源送りは電気設備工事。それ以降の二次側電源・制御線は本工事にて施工。</li> <li>・空調機採用メーカーにより、冷媒追加補充が必要であることに留意すること。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内外機の電源渡り線、制御線、アース線は、冷媒配管共巻とする。</li> <li>・屋内外機の渡り線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外装内に収めること。</li> <li>・外壁貫通部については、コーティング処理を行い雨仕舞に特に注意して施工すること。</li> </ul>

室名 :	湯沸室	使用燃料 :	LPG	理論廃ガス量 :	0.93	m <sup>3</sup> /kWh
排気フード	I 型	V =	30	kQより		
使用器具			ガス消費量			
			kW			
2口ガスコンロ (オーブン付)	1	台	8.10			
V = 30 × 0.93 × 8.10 = 225.99 → × 1.1 = 248.6 m <sup>3</sup> /h						
換気量集計	2階					
				合計		
換気風量	248.6			248.6		m <sup>3</sup> /h

高知市消防団一宮分団屯所新築工事		火気使用室の換気風量計算・排気フード吸い込み面風速による計算								
室名 :	湯沸室		使用燃料 :	L P ガス式		理論廃ガス量 :	0.93	m <sup>3</sup> /kwh		
排気フード	A	I	型 :	吸込み面風速		V =	0.3	m/sec より		
器 具		2口ガスコンロ(オーブン付)								
排気フード寸法	750 × 600									
排気フード	A									
V =	0.75	×	0.60	×	0.3	m/sec	×	3,600 = 486.0 m <sup>3</sup> /h		
採用風量	486.0 m <sup>3</sup> /h		≤	486.0 m <sup>3</sup> /h		.....		OK (排気量の大きい方を採用する)		
採用排気ファン	レンジフードファン	建築工事	FE-5	405.0 m <sup>3</sup> /h	120 Pa	88.00 W	1 φ	100 V		
器具名称	排気フード A									
必要換気量計	486.0						=	486.0 m <sup>3</sup> /h		
採用換気量	486.0						=	486.0 m <sup>3</sup> /h		
合計換気量	486.0						=	486.0 m <sup>3</sup> /h		

## 換気 機器リスト

記号	名称	機器仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考
			φ-V	W			
FE 1	天井付ダクト外扇	φ100 × 80m3/h × 20Pa 埋込寸法：180□	1-100	2.6	2	1F W C × 1	
		ON-OFFスイッチ（制御は電気設備工事）				2F W C × 1	
		屋外：SUS製深型フード、ガリ、水切、防鳥網付					
FE 2	天井付ダクト外扇	φ100 シャワーユニット付属品	1-100		1	1F シャワー室 × 1	
	(建築工事)	屋外：SUS製深型フード、ガリ、水切、防鳥網付					
	支給品	※ダクト、屋外フードは本工事					
FE 3	有圧換気扇	格子形、速調、電動式シャッター付	1-100	20	1	2F 待機室 × 1	
	(24時間換気)	φ200 × 400m3/h × 25Pa（強）					
		φ200 × 200m3/h × 15Pa（弱）					
		強弱切替付24時間換気コントロールスイッチ（電気工事業者に支給）					
		不燃枠					
		屋外：SUS製カバーケース、防鳥網付					
FE 4	有圧換気扇	格子形、速調、不燃取付枠、電動式シャッター付	1-100	47	1	1F 車庫 × 1	
		φ300 × 1,400m3/h × 30Pa（強）					
		換気用24時間ブロウタムタイマー付（電気工事業者に支給）					
		屋外：SUS製カバーケース、防鳥網付					
FE 5	レシプロファン	φ150 × 500m3/h × 120Pa（風量、消費電力は参考値）	1-100	47	1	2F 湯沸室 × 1	
	(建築工事)	角丸アタッチメントは建築工事					
	支給品	屋外：SUS製深型フード、ガリ、水切、防鳥網付					
		※ダクト、屋外フードは本工事					
OA 1	自然給気口	φ100 格子形			2	1F W C × 1	
		風量調整機構、フィルター付				1F 脱衣室 × 1	
		屋外：SUS製深型フード、水切、防虫網付					
OA 2	自然給気ユニット	φ150 角形			5	1F 車庫 × 2	
		風量調整機構、フィルター付				2F 待機室 × 3	
		屋外：SUS製深型フード、水切、防虫網付					

### 特記事項

- ・機器風量は記入値以上とする。静圧、消費電力は参考値とする。
- ・天井付ダクト扇(FE-1)のON/OFFスイッチは電気設備工事とし、24時間換気スイッチ(FE-3)及び換気用24時間プログラムタイマースイッチ(FE-4)は、電気設備工事業者に無償支給する。
- ・屋外フード排気用は防鳥網(5メッシュ)とし、給気用は防虫網(10メッシュ)を使用する。
- ・施工にあたっては、施工図によりダクトの圧力損失計算を行い、取付機器のチェックを行う事。
- ・外壁貫通部については、コーキングを行い雨仕舞いには特に注意して施工する事。

高知市消防団一宮分団屯所新築工事

## 24時間換気計算書

2階エリア

階数	部屋名	床面積	天井高さ	部屋容積	換気回数	換気量	換気種別	給気側	排気側	換気回数
		[m <sup>2</sup> ]	[m]	[m <sup>3</sup> ]	[回/h]	[m <sup>3</sup> /h]		[m <sup>3</sup> /h]	[m <sup>3</sup> /h]	n
2 F	待機室	31.768	2.50	79.42	0.3	23.83	給気機（給 気口）及び 排気機	自然給気	28.50	
	湯沸室	6.228	2.50	15.57	0.3	4.67				
	計	37.995		94.99		28.50				
2 F	24時間対応換気機風量									
FE-3	待機室	有圧換気扇（弱運転）		200	m3/H		3	換気風量	200.0	
	計			200	m3/H				200.0	2.10
								OK		



株式会社 シグマ設備設計室

高知市江陽町1-12 (2F) TEL(088)880-1832 FAX(088)880-1836

一級建築士事務所（高知県）登録第1232号 一級建築士登録 第385176号 浅井 佳苗  
二級建築士登録 高知県第5512号 島崎 博幸

高知市消防団一宮分団屯所新築機械設備工事

図面内容

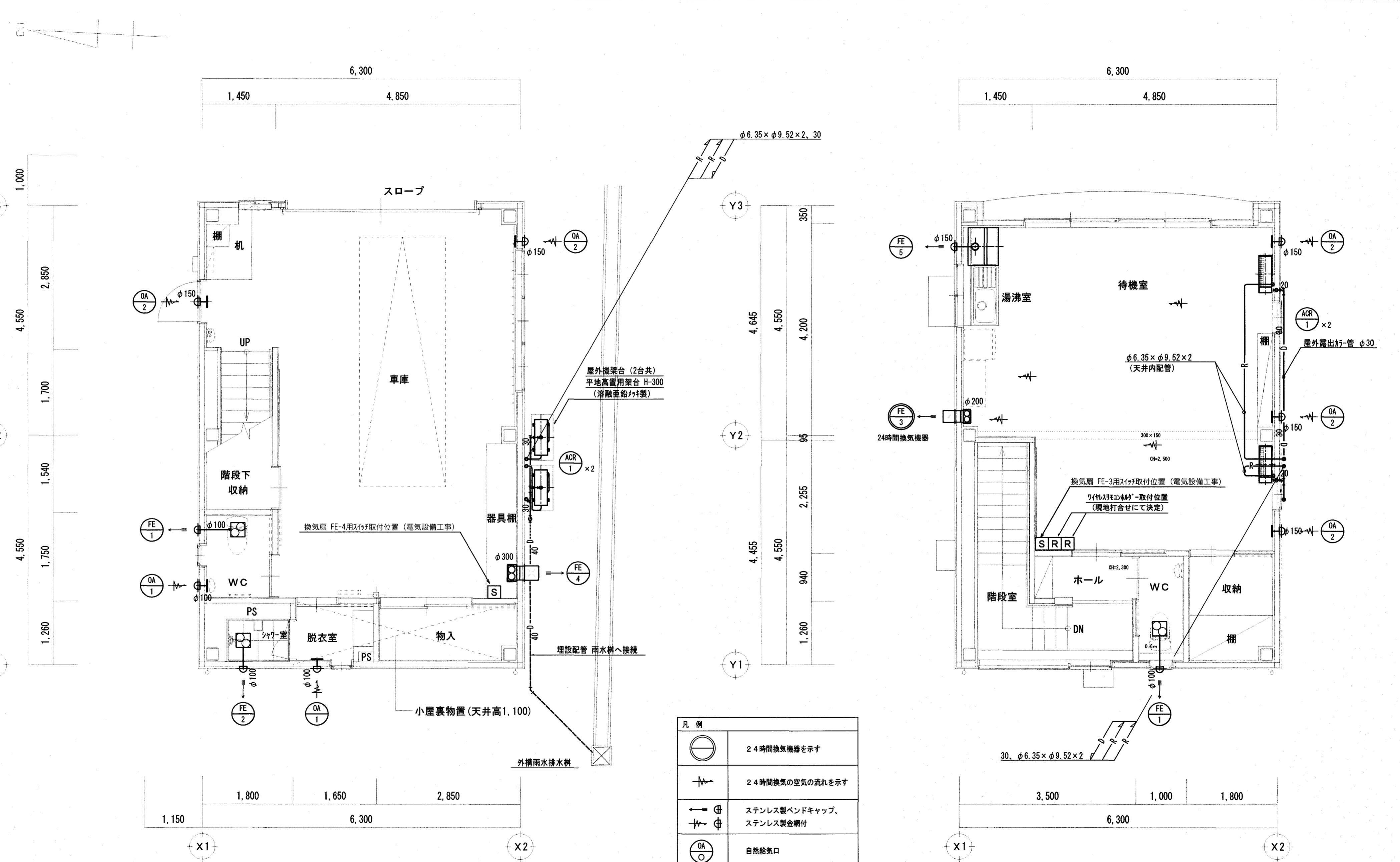
空調・換気設備

縮尺 作図 指図 標印 設計日付

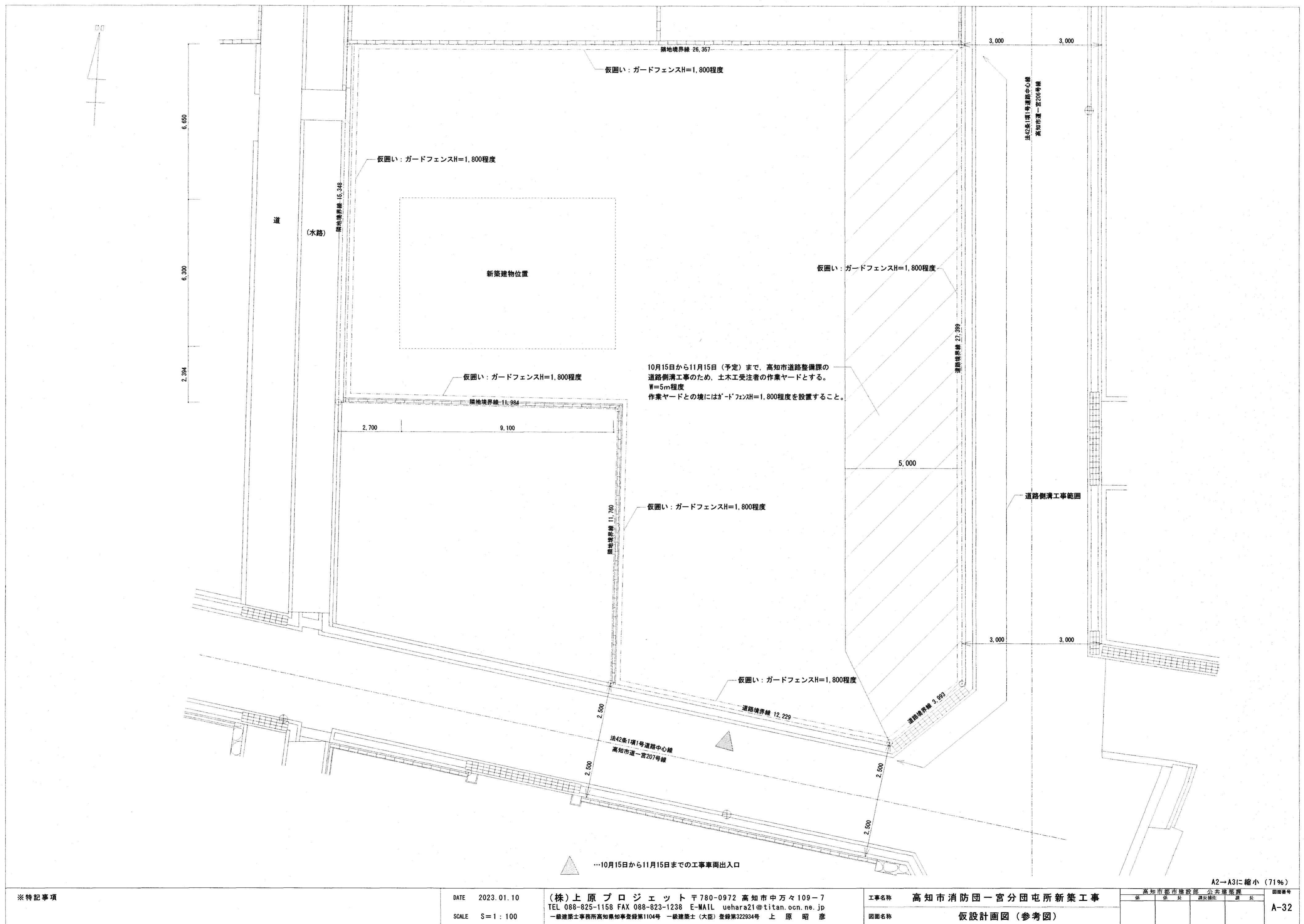
高知市都市建設部公共建築課

图目 No.

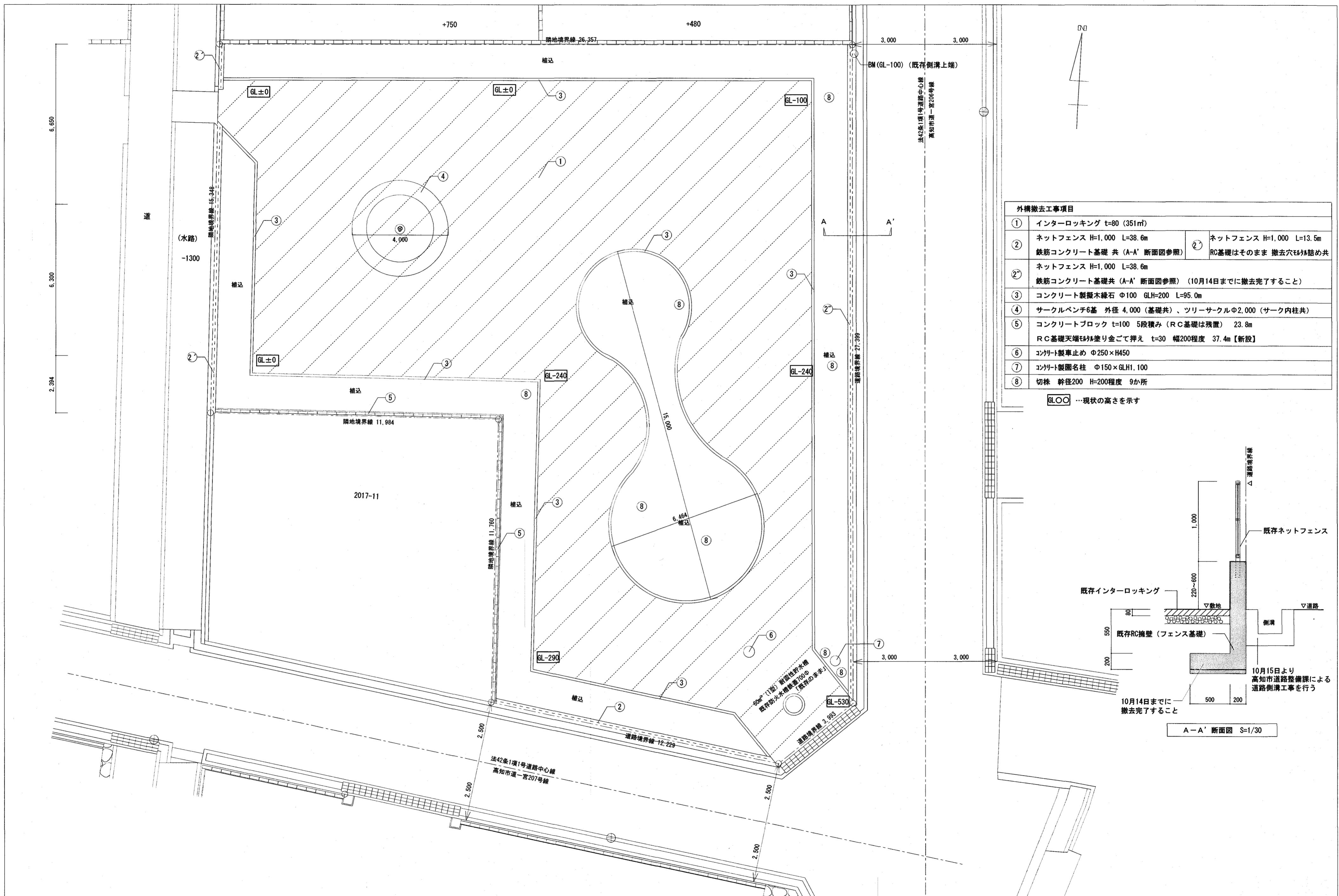
M-07



凡 例	
	24時間換気機器を示す
	24時間換気の空気の流れを示す
	ステンレス製ペンドキャップ、 ステンレス製金網付
	自然給気口

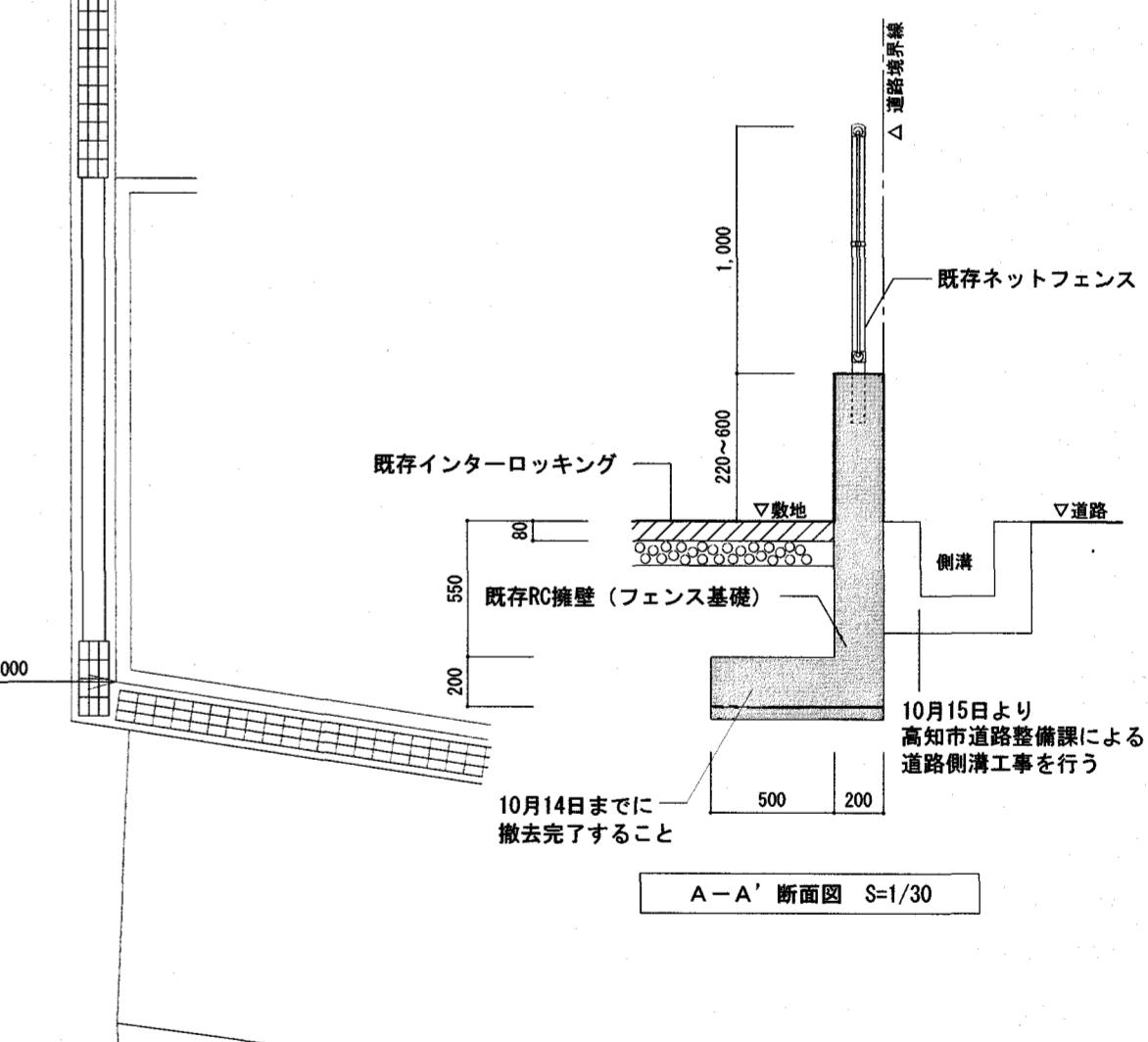


※特記事項	DATE	SCALE	高知市都市建設部 公共建築課			図面番号
			係	係長	課長補佐	
	2023.01.10	S=1:100	(株)上原プロジェクト TEL 088-825-1158 FAX 088-823-1238 E-MAIL uehara21@titan.ocn.ne.jp TEL 088-825-1158 FAX 088-823-1238 E-MAIL uehara21@titan.ocn.ne.jp 一级建築士事務所高知県知事登録第1104号 一级建築士(大臣)登録第322934号 上原昭彦	工事名称	高知市消防団一宮分団屯所新築工事	A-32
			図面名称	仮設計画図 (参考図)		



外構撤去工事項目		
①	インターロッキング t=80 (351m <sup>2</sup> )	
②	ネットフェンス H=1,000 L=38.6m 鉄筋コンクリート基礎 共 (A-A' 断面図参照)	② ネットフェンス H=1,000 L=13.5m RC基礎はそのまま 撤去穴も詰め共
③	ネットフェンス H=1,000 L=38.6m 鉄筋コンクリート基礎共 (A-A' 断面図参照) (10月14日までに撤去完了すること)	
④	コンクリート製擬木縁石 Φ100 GLH=200 L=95.0m	
⑤	サークルベンチ6基 外径 4,000 (基礎共)、ツリーサークルΦ2,000 (サークル内柱共)	
⑥	コンクリートブロック t=100 5段積み (RC基礎は残置) 23.8m RC基礎天端より塗り金ごて押え t=30 幅200程度 37.4m【新設】	
⑦	コンクリート製圓柱 Φ150×GLH1.100	
⑧	切株 幹径200 H=200程度 9か所	

GL00 …現状の高さを示す



A2→A3に縮小 (71%)

※特記事項	DATE 2022.12.25	SCALE S=1:100・30	(株)上原プロジェクト 〒780-0972 高知市中万々109-7 TEL 088-825-1158 FAX 088-823-1238 E-MAIL uehara21@titan.ocn.ne.jp 一級建築士事務所高知県知事登録第1104号 一級建築士(大臣)登録第322934号 上原昭彦	工事名称 高知市消防団一宮分団屯所新築工事		図面番号 高知市都市建設部 公共建築課 係長 係長 延長 A-33
				図面名称	外構撤去図(参考図)	